

医療法人財団

川野病院

<http://www.kawano.or.jp/>

地域のかかりつけ医として 疾患の早期発見に尽力 患者に優しい医療を届ける

を実施しながら早期受診を呼びかけている。

「胃の検査は、嘔吐・反射やのどの違和感を伴わない経鼻内視鏡検査を積極的に行っており、これまでに約4500件（2006年1月～13年1月）を実施しています」と川野副院長は語る。また、大腸の検査では、腹部の張りや不快な症状が出にくい炭酸ガス送気装置を導入、鎮静剤も併用しながら苦痛を感じないよう工夫している。ポリープなどの異常が見つければ、そのまま内視鏡による治療で切除することも可能だ。

さらに、胆石症、早期胃がん、早期大腸がんなどの疾患が見つかった場合は、腹腔鏡下手術を積極的に実施しているのも同院の特長だろう。「手術は数センチの切開で済み、術後は傷跡もほぼ目立ちません。胆石症なら約5日前後の入院、胃がんや大腸がんなら約2週間程度の入院で済み、早期の社会復帰も可能です」

指せるからだ。そのため、同院では検査時の苦痛を限りなく低減した「患者に負担をかけない内視鏡検査」

専門医による

痛みが少ない痔の治療

同院が消化器疾患の予防



高度な技術が求められる腹腔鏡下手術を数多く実施している

負担の少ない検査で 患者の健康を守る

東京都立川市にある川野病院は、地域のかかりつけ医として長年にわたり患者の健康を守ってきた。



副院長 川野 幸夫

かわの・ゆきお ●東京慈恵会医科大学医学部卒業。慶應義塾大学消化器外科を経て現職。医学博士、日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医、日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病専門医

鏡学会認定の消化器内視鏡専門医である川野幸夫副院長を筆頭に、日本人の死亡率上位を占める大腸がんや胃がんを早期に発見する内視鏡検査に力を注いでいる。

治療を行うことで根治を目指すから。そのため、同院では検査時の苦痛を限りなく低減した「患者に負担をかけない内視鏡検査」

や治療とともに、重点を置くのが痔の治療だ。なかでも脱肛を伴うような痔核には、注射で治療するALTA療法を勧めている。1泊2日で行える上、ほとんどの人が数日～10日間程度で回復を目指すという。重症化している場合は、特殊な機器を用いて手術を行うPPH法を実施。この治療では、痛みを感じる組織を傷つけないため、術後も早期に社会復帰できる点が大きな特長だ。同院ではこれらの一連の治療を、日本大腸肛門病学会認定の大腸肛門病専門医が行っているという点も心強い。

2013年に開院から71年目を迎えた同院は、今後も「人に優しい医療」をモットーに診療に従事していく。「今後も体に優しく痛みを少ない治療を追求しながら、患者さんの早期社会復帰に貢献していきたいと思えます」と川野副院長は話した。

取材/秋元愛

INFORMATION

診療科目: 外科、内科、循環器内科、整形外科、肛門外科、皮膚科、神経内科、リハビリテーション科

診療時間: 月～金 9:00～12:00 / 15:30～18:00
土 9:00～12:00

※診療科によって一部診療時間が異なります

休診日: 日・祝

〒190-0022 東京都立川市錦町1-7-5

TEL.042-522-8161 (代表)

<http://www.kawano.or.jp/>